
エデン

キップル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エデン

【Nコード】

N7511I

【作者名】

キップル

【あらすじ】

詩集『カエルトコ』より： 4

昨日

昨日

魔法の絨毯が　とうとう

飛ばなくなった

だから　夢を語るまえに

真実を伝えなければいけない

四月になれば、彼女は

読み返した文庫本の間から

四つ葉のクローバーが出てきた

あたりまえのように彼女を　思い出していた

彼女は草原では必ず

四つ葉のクローバーを探した

A p r i l

C o m e s h e w i l l

「しあわせ」を探すの　と言っては

いつまでも　しゃがみ込んで

クローバーを選び分けていた

その向こうからときおり
魔法の絨毯が浮かび上がった
四つ葉のクローバーは時々見つかったけれど
「しあわせ」は見つからなかった

カラカラになったクローバーの
一枚の葉が取れそうになっていた
僕はまたそれを 頁の間に挟み
文庫本を本棚に戻した
文庫本と 何かを 本棚に戻した

Four-leaf clover...
Our affair is over

本当はもう 「しあわせ」は
見つけていたんだよね
春になるまで しまっておいたんだよね

いつかまた 忘れた頁の間に 僕は
四つ葉のクローバーを見つけるだろうか
そして春になれば 四月になれば

April
Come she will

僕は 彼女が見つけたものと
見つけられなかったものを 知っている
でも自分が失ったものを 知らない

今日ノレトリカル・エデン

昨日

魔法の絨毯が　とうとう

飛ばなくなつた

眞実を告げない機械が

流れて行つたものを投影する

雨の匂いを添えて

血の味を混じらせて

やりきれなさのゲルの海を

着衣のまま　泳ぐ　祈る

メタモルフォーゼがゼノフォービアを

誘発することなどなく

御国が打ち建てられますように

人は毎日少しずつ　賢くなつていき

毎日わずかに　ロジックと感情のバランスを取り

ひとつずつ魔法を失う

楽園を韻文に見い出そうとして

「過ごせたかもしれない時間

産まれていたはずの子供

挟まれたままの四つ葉のクローバー

飛ばなくなつた魔法の絨毯」

予言する統計システムの預言するバグ

アポトーシスの道化士が落下する
アララトを越えて 織って
乳の川を渡り 海を分け 振り返り
知る 断ち切る

それでも人には まだ
帰るところがある
一縷の望みは
郷愁と似ている

しゃぼん玉

産まれなかった僕の子供は
きつときつと

僕と彼女が一緒にいない理由を
神様に質問しているだろう
神様は困っているだろうか
きつときつと 子供は
寒くて 少し

かわいいゲロを吐いているのだろう

何と答えよう

もうすぐ彼と会ったときに

「もう 魔法の絨毯は飛ばないんだ

もう 君のお母さんとは

何年も話していないんだ

君がお腹にいる間にでも

いっぱいお話しを
してあげてたらって思う
四つ葉のクローバーが
見つかったかどうか
知らないんだ ごめんね」

もし君が産まれていたら
魔法の絨毯は
僕が両手を差し上げた高さだけ
宙に浮かんだだろう
ほらお口を拭こう
ほら背中をとんとん 叩いて上げよう
ダイジョウブ ダイジョウブ

世界と僕には あれから
数え切れないほど事件が起きたんだ
だからいっぱいお話しがしてあげられる
いやなお話しも半分はあるけどね
(君の名前も 実は 考えたんだ)
ああ 会わせたい人も 何人かいる

多分僕のほうが先に
君に会えるから
お話しを聞きながら
お母さんの来るのを待っていていよう
そしてみんな一緒に
帰ろう

明日

魔法の絨毯が　とうとう

飛ばなくなった

それでも僕には　まだ

帰るところがある

だから

産まれなかった者たちに

歩いて　会いに行こうと思う

(後書き)

ガルシア・マルケスと、この世界には生まれなかった子供に捧げます
2001・10・07

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7511i/>

エデン

2010年10月20日17時55分発行